

2月22日は頭痛の日

皆様へ

日本頭痛学会、日本頭痛協会では、毎年2月22日を「頭痛の日」として制定しております。頭痛は多くの方が経験される身近な症状でありながら、その影響は非常に深刻です。また、疾患として周囲の理解がえられにくいのも特徴です。私たちは、頭痛患者さんが適切な理解とサポートを受けられるよう「頭痛の日」を設け、様々な啓発活動を展開しています。

頭痛にお悩みの方は、ぜひこの日をきっかけに、専門医を受診するなど、健康な毎日を取り戻してください。グリーンは片頭痛患者さんに優しい色とされ、グリーンをテーマカラーとしたさまざまな取り組みをおこなっております。そのいくつかを以下にご紹介させていただきます。



頭痛啓発ポスター

毎年頭痛協会では、頭痛患者さんに対する理解を深め、適切な医療を提供するためポスターを作成しています。2023年はグリーンライトキャンペーンと題して、近年片頭痛治療薬が発症機序から開発されたことによる頭痛診療の進歩について記載しています。

熊本城がグリーンにライトアップ

昨年2023年2月22日の頭痛の日には、社会全体に頭痛患者さんへの理解を広め、医療へのアクセスを向上させたいとの思いから、熊本城がグリーンにライトアップされました。夜空に浮かぶ緑の熊本城が頭痛疾患と戦う大きな団結力を象徴していました。



各病院でのグリーンリボン啓発活動

各病院では頭痛の日に合わせてグリーンのリボンをつけて診療を行っています。これは、頭痛に詳しい医師やスタッフを示すシンボルとなっており、患者さんと医療者の信頼関係の向上を目指しています。頭痛に悩む方々にとって、安心して相談できる環境を整えることが大切です。この啓発活動を通じて、患者さんが適切な医療を受けられるよう、共に努力してまいります。